



# 学校だより 春休み号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

## 一年間ありがとうございました

学校長 副島江理子

新型コロナウイルス感染症対策として臨時休業に入って3週間が経ちました。この間、保護者の皆様には、大変なご苦勞をおかけ致しております。ご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。なるべく迅速に分かりやすく皆様に情報提供をしようと心がけておりますが、度重なるメール発信をせざるを得ない状況を申し訳なく思っております。ホームページにも情報をのせております。引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日、1日だけ2時間という短い時間ですが児童の登校日となり、子どもたちに再会できました。子どもたちのいない学校で、登校日に向けて準備をしてきた教職員にとって大きな喜びとなりました。また、何よりも久しぶりに友だちに会えて、子どもたち同士が大きな喜びに包まれておりました。

本日は、とりあえずの荷物の持ち帰りや今年度のまとめについて学級指導を行いました。慌ただしい中での学年末となりましたが、次回、学校に来る時は、1つ進級して次の学年となります。本来ですと十分に子どもたちが1年間のふり返りと次の学年への見通しを行ってから進級いたしますが、このような状況ですので、4月に学校が再開してから、今年度中の未履修の学習も含め、少しずつ丁寧に新学年での学校生活を進めていきたいと思っております。なお、学年の状況によって新学年に引き継ぐことに多少の違いがありますので、詳細につきましては、本日配布した学年だよりをご覧ください。

ふり返ってみると今年度は「緑園東小学校30周年」として学校と地域、これまで本校に携わっていただいた関係者の方々が、一丸となって周年のお祝いをした記念すべき年でした。多大なるご厚情に改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

突然の休業で、学校からは子どもたちの姿が消えて、学校は寂しい限りです。この間、子どもたちも不自由を強いられながら過ごしてきたと思います。学校というコミュニティーの中で、日々子どもたちが協働して学習や生活することで、初めて生まれる喜び、創造、成長、未来への夢があることを改めて痛感しています。今回の突然の休業が教えてくれた、「子どもが集うからこそその学校の価値」を心に刻んで、教職員一同一丸となって、新年度からの学校運営を進めていきたいと存じます。

19日には、令和元年度、本校第30回目の卒業生63名が、澄み切った青空の下、晴れやかに卒業していきました。卒業を目前にして急遽閉ざされてしまった小学校生活でしたが、久しぶりの友達との再会を喜びつつ、練習もできなかった卒業証書授与式を見事にやり遂げました。代表して教職員一同でその立派な姿を見送らせてもらいました。6年間の本校での「主体的、協働的な学び」を身に付けたからこそその堂々とした姿でした。お世話になった地域の方々に晴れ姿を見ていただけなかったことは心残りですが、これからも「まちの一員」として関わってほしいと願っています。卒業生の今後の活躍を心より祈っております。

このような年度末となりましたが、保護者、地域、関係者の皆様には、一年間、本校に多大なるご理解とご協力を賜りまして本当にありがとうございました。